

**日本舌側矯正歯科学会(JLOA=Japan Lingual Orthodontics Association)主催****『第4回アジア舌側矯正歯科学術大会』が開催されました****アソインターナショナル歯科技工士による基調講演**

日本舌側矯正歯科学会(理事長：A.I.DENTAL OFFICE 院長 伝法昌広先生、以下 JLOA)は、舌側矯正発展のため会員相互が意見・技術を交換して、より高度な術式を取得するための場を提供することを目的とし、1988年に結成され37年の歴史を有する、歯科矯正に関して国内でも有数の学会です。舌側矯正とは、歯の裏側(舌側)に矯正装置を装着して歯の移動をさせるため、外見の違いを気にせずに日常生活を送りながら治療することができ、アライナー(マウスピース)矯正とは違った独自のメリットがあります。

この JLOA が主催する第4回アジア舌側矯正歯科学術大会(学術大会長：しもだ矯正歯科クリニック院長 下田哲也先生)が、2025年11月23日(日)～24日(月)の2日間に亘り、福岡天神・TKP エルガーラホールで開催されました。日本国内は固より、韓国や台湾の学会から著名な矯正歯科医に福岡へお運びいただき、盛大な学会となりました。

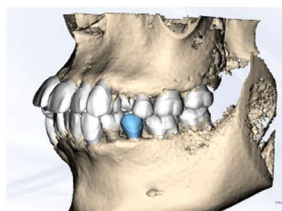
本大会のテーマは「舌側矯正の未来展望：革新と進化の軌跡」であり、近年矯正歯科分野においても急速にデジタル化が進展、更には人工知能や機械学習の進化により診断支援や治療計画の自動化、治療予測の高度化等臨床のあらゆる局面に革新がもたらされております。そのような中、個々の患者に最適化されたアプローチを可能とする技術が広がりを見せており、舌側矯正はこれまで以上に、現実的かつ魅力的な治療選択肢となっています。

株式会社アソインターナショナル(本社：東京都中央区銀座、代表取締役：阿曾敏正、東証スタンダード上場、証券コード9340、以下当社)は、当社のチーフ歯科技工士である小林隆子が「ボーンハウジングを考慮した Full Digital 矯正歯科技工」というテーマで基調講演を行いました。デジタル化により可能となった口腔内情報と CT 画像とが連動することで、従来の矯正治療(歯冠のみのセットアップ)では限界がある点を問題提起し、たいへん興味深い講演となりました。

当社は、歯科矯正の DX 化・技術のイノベーションを駆使、またアライナーや IDB(インダイレクト・ボンディング)等の様々な矯正装置の供給等を通じ、多様化する患者への最適化されたアプローチを提案、皆様の QOL(Quality of Life)向上に努めてまいります。

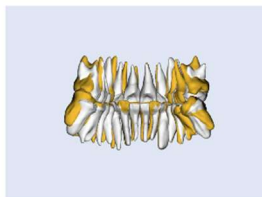


デジタルによる歯根運動セットアップ



Initial

後方から見たボーンハウジング



※黄色はInitialです



ASO for the World  
Digital Ortho Lab  
ボーンハウジングを考慮した Full Digital 矯正歯科技工

2025年11月23日  
第4回 アジア舌側矯正歯科学術大会にて  
株式会社アソインターナショナル  
IDB製作班 主任 小林 雅子

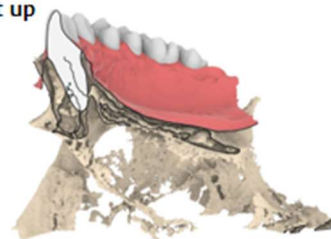


Initial



このラインでカットします

Set up



延喜 1  
Course 1 Pre-Congress  
by ASO  
International, Inc.



以上

本リリースに関するお問い合わせ

株式会社アソインターナショナル 管理部

〒104-0081 東京都中央区銀座 2-11-8

Tel:03-3547-0471

E-mail:ir@aso-inter.co.jp